

8. ビジョンの実現に向けて

本ビジョンは、以下に示す事業効果の確認、計画の見直し、詳細計画などの作成を実施しながら、将来像や基本方針を実現していきます。

8.1. 計画の進捗状況と事業効果の把握

着実にビジョンを推進するために、各種実現方策の進捗状況を把握していきます。将来の進捗状況の把握には、本ビジョンの現況評価で使用した業務指標(PI)などを活用し、その時点での事業効果を把握し適宜見直すこととします。

8.2. 計画の見直し

本ビジョンの各実現方策を着実に実施して将来像を実現するため、本ビジョンを将来にわたって活用できる内容とする必要があるため、定期的にビジョンの見直しを行います。

ビジョンの見直しは、適宜 PDCA サイクルの考え方「計画の実施(Do)、進捗の確認・検証(Check)、計画の見直し(Action)」に基づき、計画の問題点、方向性の確認、事業の有効性、利用者の意見などを確認しながら、計画の再構築(Plan)を行います。

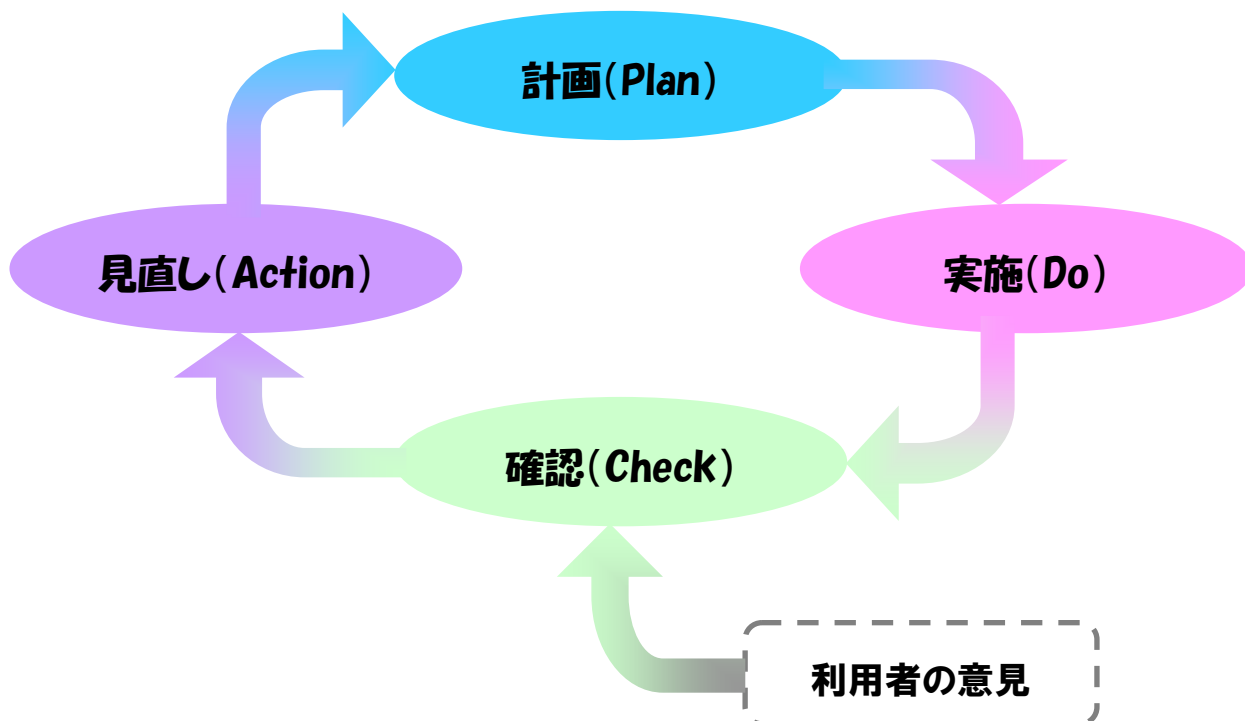


図 8-1 事業推進の PDCA サイクル

8.3. 詳細計画の策定

本ビジョンに掲げた実現方策は、将来像を達成するための事業概要を示したものです
が、実際に各事業を実施するにあたっては、本ビジョンを基本とした各事業の詳細計画・
詳細設計を作成し、これに基づき事業を進めていきます。

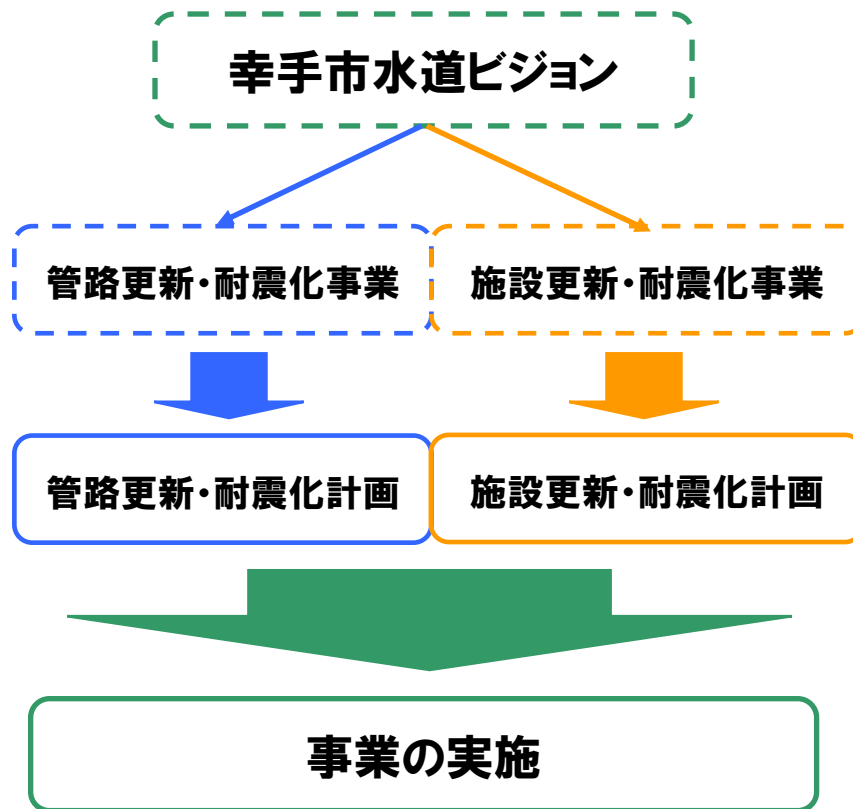


図 8-2 事業の実施のイメージ図